製品安全データシート

【1　製品及び会社情報】

会　　社	都インキ株式会社
住　　所	大阪市鶴見区放出東 1-7-13
担当部門	技術課
電話番号	06-6961-0101
FAX 番号	06-6961-0303
作成	1995 年 4 月 28 日
改定	2012 年 6 月 12 日

整理番号　　Z－88－04

製 品 名　　オールマイティ減感チェッカー

【2　危険有害性の要約】

重要危険有害性及び影響

特有の危険有害性

GHS 分類

物理化学的危険性

可燃性・引火性エアゾール	区分 1
引火性液体	区分 2

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	区分外
急性毒性（吸入：ガス）	区分外
急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	区分外
皮膚腐食性・刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2A
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	区分外
生殖毒性	区分 2
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分外

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	区分 3
水生環境慢性有害性	区分 2

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語　　危険

危険有害性情報　極めて引火性の高いエアゾール
引火性の高い液体および蒸気
飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ
皮膚刺激
重篤な眼の刺激性
(気道刺激性)気道への刺激のおそれ
(麻酔作用)眠気またはめまいのおそれ
発がんのおそれの疑い
生殖能または胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害
水生生物に有害
長期的影響により水生生物に有害
噴射ガスを直接皮膚に浴びせると凍傷のおそれ

注意書き
【安全対策】
・保護手袋および保護眼鏡を着用すること
・防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること
・環境への放出を避けること
・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと
・すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと
・使用前に取扱説明書を入手すること
・使用後穴をあけたり燃やしたりしないこと
・取扱後は手をよく洗うこと
・容器を密閉しておくこと
・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること
・必要に応じて個人用保護具を使用すること
・火災を発生しない工具を使用すること
・熱、火花、裸火、高温のものから遠ざけること
・スプレーを吸入しないこと
・裸火または高温の白熱体に噴霧しないこと
・静電気放電に対する予防措置を講ずること
・火災の場合には消火に粉末、炭酸ガス、泡消火剤を使用すること

【救急措置】
・吐かせないこと
・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
・暴露した場合：医師に連絡すること
・暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断を受けること
・気分の悪い時は医師に連絡すること
・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること
・皮膚又は毛にかかった場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ流水またはシャワーで洗うこと
・皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受けること-0
・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
・眼の刺激が続く場合は、医師の診断手当てを受けること
・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること

【保管及び廃棄方法】
・直射日光を避け、温度が 40℃以上にならない通気の良い冷暗所に保管すること
・子供の手の届く所には置かないこと
・廃棄の際には、中身を使い切ってから、火気のない戸外で噴射音が消えるまでボタンを押しガスを完全に抜いてから捨てること

【3　組成及び成分情報】

物質の特定　混合物

成分及び含有量

成分	含有量	CAS№.	官報公示№.
ロイコ染料	1%未満	1552-42-7	5-129
脂肪族系炭化水素	20%	64742-81-0	9-1689
シクロヘキサン	20%	110-82-7	3-2233
ジメチルカーボネイト	7%	616-38-6	2-2853
ｄ－リモネン	2%	5989-27-5	3-2245
ジメチルエーテル	32.5%	115-10-10	2-360
噴霧ガス　LPG	17.5%	68476-85-7	3 及び 4

化学式又は構造式　特定できない

【4　応急措置】

吸入した場合　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合　多量の水と石鹸で良く洗い流す。

目に入った場合　水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も注意深く洗浄する。

飲み込んだ場合　直ちに医師に連絡すること。

【5　火災時の措置】

消火方法　消火剤を使って消火。冷却

消火剤　粉末。炭酸ガス。泡。霧状の水

使ってはならない消化剤　棒状注水

消火を行う者の保護　消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

【6　漏出時の措置】

人体に対する注意事項

保護具及び緊急時措置

作業者は適切な保護具（「８．ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

漏洩した薬品を適切な方法で回収した後漏洩個所を大量の水で洗い流す。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

【7　取扱及び保管上の注意】

取扱

技術的対策　「８．ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気　「８．ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行なう。

安全取扱い注意事項　「２．危険有害性情報の要約」の注意書き【安全対策】の項を参照

接触回避　「１０．安定性及び反応性」を参照。

保管

技術的対策

皮膚、眼、衣服との接触を避ける。取り扱った後、手を洗うこと。
喫煙、裸火その他の着火源の使用をしない。

保管条件

熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。容器は直射日光や火気を避ける。容器を密閉して換気の良い冷所で保管する。

混触危険物質　　「１０．安定性及び反応性」を参照。
容器包装材料　　国連輸送法規で規定されてる容器を使用する。

【8　暴露防止及び保護措置】

保護具

呼吸器の保護具	必要に応じて有機ガス用防毒マスク等を着用すること。
手の保護具	必要に応じてゴム手袋など保護手袋を着用すること。
眼の保護具	保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）
皮膚及び身体の保護具	適切な顔面用の保護具を着用すること。 適切な保護衣及び長靴を着用すること。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 換気を良くする。取扱い後はよく手を洗うこと

【9　物理的及び化学的性質】

当該化学物質等の外観

物理的状態・形状	エアゾール缶に入った液体
色	透明
臭い	マイルドな溶剤臭
Ph	非該当
融点・凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	−70℃（ＬＰＧ）
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重（相対密度）	データなし
溶解度	データなし
ｎ‐オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
臭いのしきい値	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼性（固体、ガス）	データなし

【10　安定性及び反応性】

避けるべき条件	直射日光、熱
混触危険物質	なし

【11　有害性情報】

急性毒性	直接蒸気を吸い込んだ場合、眠気が生じたりふらつく
皮膚腐食性・刺激性	長時間繰り返して毎日皮膚に触れると脂肪が取れ皮膚炎を起こす恐れがある。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	眼に入るとわずかに刺激する

呼吸器感作性	データなし
皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	データなし
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

【12　環境影響情報】

環境影響・生態毒性

水生生物に毒性　区分２

生体蓄積性・残留性・分解性

データなし

土壌中の移動性

データなし

【13　廃棄上の注意】

残余廃棄物

自治体により廃棄方法が異なるので該当する自治体の規定に従うこと

汚染容器及び包装

使い切ってから廃棄すること

自治体により廃棄方法が異なるので該当する自治体の規定に従うこと

【14　輸送上の注意】

国連番号　　１９５０

国連分類　　２－１

特別の安全対策 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない

【15　適用法令】

労働安全衛生法	通知対象物質
消防法	第４類第１石油類
高圧ガス取締法	エアゾール
船舶安全法	船舶安全法の規定にしたがう
航空法	航空法の規定にしたがう
海洋汚染防止法	海洋汚染防止法の規定にしたがう
ＰＲＴＲ法	非該当

【16　その他の情報】

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること

①炎や火気の近くで使用しないこと②火気を使用している室内で大量に使用しないこと③高温にすると破裂の危険があるため､直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が 40 度以上となる所に置かないこと④火の中に入れないこと⑤使い切って捨てること

記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません｡すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いします。